

発議第1号

協議テーマに係る意見書の提出について（これからの公共交通を考える委員会）

意見書を次のとおり提出するものとする。

平成31年1月26日提出

これからの公共交通を考える委員会

委員長 南川 陽

石川 夢 姫

笠井 香 蓮

梶原 知 茂

金丸 彩 乃

佐野 未 羽

瀧 月 誓

伴 厚 太 朗

森 淳 稀

意見書（これからの公共交通を考える委員会）

当委員会の所管事項に関し、高校生の視点から、以下の項目について提案するものです。

記

1. バスの利用環境の向上のため、近鉄四日市駅の発着場を1つに集約し、行き先の表示が他府県からの来訪者でも利用しやすいように、わかりやすい案内表示にすること。
2. 朝夕の公共交通機関の本数が多い時間帯とは違い、学校の試験期間中は電車の本数が少ない時間帯に帰宅することから、待ち時間が長くなるため、利便性の向上のため、試験期間中に限り、その本数を増便すること。
3. バスの料金が高く、料金表がわかりづらい。また、路線によってはIC乗車券の利用ができないことから、利用環境の改善に余地があるため、利用環境の改善に努めること。
4. 公共交通機関は通勤や通学に利用するだけでなく、電車に乗ることを楽しむ方も見えるため、電車に乗ると面白いと思えるような取り組みも取り組むこと。
5. 自転車通学の際に危険個所にカーブミラーの設置や歩道と車道の区別を明確に行い、自転車や歩行者の安全・安心に取り組み交通事故の減少につなげること。

以上、意見書を提出します。

平成31年 1 月 26 日

四日市市議会高校生議会

四日市市議会宛